

NO. 2	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	2	新井田 昭 男	
<p>1. 防災対策強化での防災課の設置を</p> <p>東日本大震災以降政府の防災対策や、全国の各自治体の防災認識が大きく変革を遂げている中、近年地球規模で異常気象による大きな災害が発生しています。</p> <p>地球温暖化の中、毎年発生し北上する台風では、これまでの定説であった「北海道には強い台風はこない」は、もはや通用しない状況にあります。</p> <p>また、最も恐ろしい地震についても今後、北海道東部沖の千島海溝沿いで、東日本大震災に匹敵するマグニチュード9級の巨大地震の発生が「接近している可能性が高い」とする評価結果を政府の地震調査委員会がまとめております。30年以内の発生確率は最大で40%とし、いつ起きてもおかしくない状況だと受け止めるべきで、政府や自治体は防災体制の強化を急がなければならないと警鐘を鳴らしております。</p> <p>我が町としても過去のデータの蓄積を基に、今後発生し得る災害に対する防災体制のさらなる強化を図るべきと考えます。災害による一人の不幸も見逃さないために下記の点について、町長の見解を伺います。</p> <p>(1) 災害対策強化のため、防災課の設置が必要と考えますが見解を伺います。</p> <p>(マスコミによる自然災害に対する情報やデータ開示、またブラックアウトなど予期せぬ人的災害など、想定を覆すような災害が起こっています。前段、申し上げたようなことも含め、我が町の住民の生命、財産を守るためにも新たに防災課を設けるべきと考えます。)</p> <p>(2) 異常気象による木古内川の氾濫などが想定される中、危険箇所と考えられる場所にカメラを設置し、リアルタイムで情報収集し、モニター管理をすることが適正と考えるがいかがか。</p> <p>(台風での強風時や豪雨時での危険箇所確認は、大変な危険を伴います。二次災害を回避するためにも必要な対応と考えます。</p>			町 長

<p>2. 駅前通り、駅前広場の美化と既存設備の活用について</p> <p>駅前通り、駅前広場は、安全な歩道が整備され、快適な通りとして観光客や地元住民に道の駅での買い物や散策路として利用されております。町のイメージ作りや観光振興を含めた「駅前通り」にするため、次の3点について町長の見解を伺います。</p> <p>(1) 駅前通りに木古内町にふさわしい「名称」をつけてはどうか。 (児童も含め、公募で愛称を募集してはどうか。)</p> <p>(2) 駅前通りの6m歩道の植樹帯の活用と、駅前広場の芝を植栽しているロータリー内側の活用策として芝桜を植栽してはどうか。 (冬の除雪対策から、冬期間はプランターに植栽し、遊休地に仮植をほどこし、春に定植する。作業または管理としては、駅前通りの商店、小中学生の総合学習としての取り組み、花いっぱい運動として一般町民公募、町職員ボランティア、議会林活事業の一環としての取り組み等々が考えられます。)</p> <p>(3) 高齢者にやさしい憩いの場とするため、駅前通りに道南スギのベンチを設置してはどうか。両サイドに3台ずつ配置して、福祉の町木古内を強調すべきと考えますが見解を伺います。 (1台2万円程度で、やり方的にはスポンサーを募るなどし、スポンサーのPRになるように配慮する。)</p>	<p>町 長</p>
---	------------